

毛織物が大好き

ヒメマルカツオブシムシ

東京の
生活害虫

1



●成虫 (体長約3mm)



●若い幼虫

●成熟した幼虫 (体長約5mm)



●被害を受けた布

知らぬ間にウールの服に穴があいていた。その犯人の多くは、ヒメマルカツオブシムシです。

形態と被害

成虫は体長3mmくらい、楕円形をしています。背中に白・茶・黒のまだら模様があります。成虫は野外の花に集まり、花粉や花蜜を食べています。

幼虫は太ったウジ状で、濃褐色の毛をもち、成熟すると体長5mmくらいになり、活発に動きます。

幼虫は毛織物、毛糸、羽毛、干魚、動物標本など、動物質を食害します。暗い場所を好むので、押入れやタンスの中での被害が多くみられます。

室内で幼虫の時期を過ごし、春から初夏にかけて成虫になります。この時期に室内で多数の成虫が見つかる場合には、すでに被害を受けていますので、よく調べてみてください。成虫は産卵後、野外に移動します。

防除

ごく普通に見られる虫なので、野外からの侵入防止は困難です。ウール製品や毛糸は、防虫剤を入れて密封した袋などに収納するのがいちばん良い方法です。



東京都衛生局



本誌掲載の薬剤は80%殺虫剤を使用しています。